

2022年4月19日
株式会社総合車両製作所

東急電鉄5000系（初代）通称『青ガエル』の保存について

株式会社総合車両製作所は、2022年4月で創立10周年を迎えました。

その記念事業の一つとして東急電鉄5000系（初代）通称『青ガエル』の先頭車両を当社横浜事業所で復原保存することと決定いたしました。

同車両は当社の前身である東急車輛製造株式会社が1954年から1959年まで105両製造し、当時の技術としては画期的な航空機由来の張殻構造（超軽量モノコック構造）と直角カルダン駆動台車方式を初めて量産化した鉄道車両です。これにより車両重量が約10t/両も軽量化され、その後の新幹線車両に至る日本の鉄道車両の軽量化の先駆けとなりました。

本車両は製造後70年近い時を経て、生まれ故郷に里帰りを果たします。

なお本車両は現在、長野県内にあり、今年から来年にかけて移送、復原を行う計画です。



東急電鉄5000系（初代）
（実際に保存する車両とは異なります。）
1957年12月撮影

○本車両の来歴

年	出来事
1956	新造（東急電鉄5000系デハ5015）
1980	改造（長野電鉄2500系モハ2510）
1997	廃車
2022	当社取得